

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

芸術系コース(音楽)  
／草下 實

## ■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

## Ⅰ. 学長の定める重点目標

## Ⅰ-1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれていることが必要である。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

## 1. 目標・計画

各授業シラバスに示した通り、現在に至るまで一貫して進めてきた学校現場の実践と乖離することのなく教員養成を担う教科専門分野として声楽関連する授業計画を継続する。それに基づき、各授業の到達目標及び学年進行との整合性を保ちながら、「歌唱表現の実践と理論及びその指導方法に関する理解」を中心に展開し、音楽科における表現活動の力量形成を目指す。

## 2. 点検・評価

学部1年「声楽基礎Ⅰ」、学部2年「声楽基礎Ⅱ」・「歌唱法Ⅰ」、学部3年「歌唱法Ⅱ」を通して、歌唱表現の基礎をなす発声、歌唱技法、歌唱理論、解釈等について、学年進行に従い、扱う教材に唱歌や日本歌曲を適宜挿入するなど、学校教育における音楽教科に乖離することがないように配慮しながら段階的に授業を展開した。授業テキストは大学4年間使用できるように全65頁からなるオリジナルテキストを作成し、1年次後期に配布している。初等音楽Ⅰでは、発声や歌唱の実践を含め授業を展開、教材は全て唱歌を用い、歌唱技法だけではなく、楽曲の理解や指導上のポイントについて講じ、理解を促した。また、可能な限り、予習の重要性と歌唱表現上の工夫を学生が個々に積極的に試行できるように努めた。

## Ⅱ. 分野別

## Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

## 1. 目標・計画

- ①学生が自ら工夫し、創造する教育を積極的に進める。
- ②自学自習を支援する。
- ③教員採用試験対策の学習支援を行う。

## **2. 点検・評価**

- ①学生が自ら工夫し、創造する教育を積極的に進めるために、各学年とも授業時や空き時間を利用して、学習のあり方や教育課題等について話す機会を多く設定した。また、授業終了の時間帯に食事会及びボーリング大会(年3回実施)など遊戯を通してコミュニケーションを図り、工夫と創造性の重要性を指導する機会をつくった。
- ②自学自習を支援するために、空き時間をオープンにして学生が抱える学習上の課題解決のための支援を継続した。
- ③教員採用試験対策のために学部3年次の後半から4年次の前半にかけて、毎週木曜日2時限目を弾き歌いの指導及び教員採用試験に向けた相談や指導を行った。

## **Ⅱ－2. 研究**

### **1. 目標・計画**

- ①歌唱表現に関する研究を継続する。

## **2. 点検・評価**

- ①歌唱表現に関する研究を継続し、本年度もオリジナル音楽劇作品「石になった涙 Ⅱ」の脚本及び音楽制作を行い、大学院授業「音楽劇総合演習」を通して一般に公表した。

## **Ⅱ－3. 大学運営**

### **1. 目標・計画**

- ①大学運営に関し、積極的に行う。

## **2. 点検・評価**

大学運営に関しては、職務(評価)を積極的に努めた。特に平成22年度業務実績報告書の作成、鳴門教育大学創立30周年記念式典・学術講演等の企画、実施の中心的役割を担った。全国教育実践活動顕彰委員会の設置及び同窓会との共催による第1回全国教育実践活動コンテストの企画・実施の役割を担った。

## Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

①教育支援アドバイザー等を通して, 教育支援を行う。

### 2. 点検・評価

①教育支援アドバイザーとして, 7月23日に鳴門市地域雇用創造協議会の委嘱を受け, 実現事業「町のにぎわい創出イベント 二部 切り絵を使ってオリジナルうちわと暑中見舞いはがきを作る教室」指導を実施した。(鳴門市銀天街)  
②鳴門市「生涯学習まちづくり出前講座」の講師として委嘱を受け, 10月14日(金)「地域の民話を題材にした影絵・切り絵と音楽」として講演を行った。(鳴門市: 優元 快舎とこちゃんKU)  
③鳴門教育大学附属中学校から要請され, 総合的学習の時間として実施した「日本伝統音楽学習: ぞめきから長唄まで(実施時期; 平成23年11月)附属中担当者: 武田教諭」において授業支援を行った。

## Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

副理事, 副学長としての職責を果たした。